

第 21 回アンケート結果 (抜粋)

1. 一般講演 1 : 「設計品質向上のための既存設計ドキュメント活用方法の提案」

1. 有意義なご講演でした。実証に期待します。

(回答) 今回提示した技術課題をクリアして文書管理システムを開発し、設計者による試行で有効性を評価・実証する計画です。

2. もっと時間をかけてお聞きしたい内容でした。

(回答) 機会があればたっぷり時間をかけてお話ししたいと思います。

3. 既存ドキュメントからメタデータをどのように抽出し関連性を定義していくのかが、利用のカギであると感じました。ER や CRUD 以外に利用できる情報が何があるのか興味があります。

(回答) 例えば項目間の関係ならば、DBの項目定義が利用できると考えています。ドキュメントに限らず、利用できる情報の有用性を1つ1つ確認していく計画です。

4. 今後の課題取り組みへの成果についても発表していただきたい。

(回答) 「今後の展望」で述べた取り組みの成果については、順次当研究会あるいは人工知能学会の全国大会で発表する計画です。

5. 今後の実用化を期待しています。

(回答) 実用に向け1歩1歩研究を進めてまいります。
まずは今回提示した技術課題をクリアして文書管理システムを開発し、設計者による試行で有効性を評価・実証する計画です。

6. 質疑応答の時間を確保して、他業種の方と様々な意見交換をすべきかと思いました。

(回答) 時間の経過を意識せずに発表してしまいました。機会があれば他の業種の方々と情報交換・意見交換を行って、研究を進める参考にさせていただこうと思います。

7. 既存のデータを整理し関係性等、新たにサーバを通してコントロールすると理解しました。既存のさまざまな形で蓄積されているデータ群が上手く取り込めるのか、その利用はどうなるのかという点について、まだ理解が及んでいません。

(回答) 分散管理されている既存ドキュメントをどう取り込むかについては、今回の論文・発表では言及しておりません。実用化のための課題の1つとして位置づけます。

8. 過去の設計事例を再利用するとのこと、興味深く拝聴させていただきました。本技術をソフトだけでなく研究業務等、より上位概念で活用できれば、より素晴らしいと思います。

(回答) 今回はシステム開発における設計フェーズをターゲットとする課題認識から始めました。有効性が確認された技術については、異なる業務への適用も今後検討してまいります。